

第15号

衆議院議員

岡本あき子

国民の力で、2019年を
「まっとうな政治」を
取り戻す転換点に！！



1964年8月生まれ。向山幼稚園卒園、青森、秋田、会津などで過ごす。宮城県第二女子高、東北大学卒業。NTT(株)社員、仙台市議会議員(5期)を経て、第48回衆議院選挙で初当選。現在、衆議院内閣委員、東日本大震災復興特別委員、立憲民主党政調会長補佐、東北ブロック常任幹事、宮城県連合代表

立憲民主党

は、「パートナーズ」を募集しています。お問い合わせ先は下記へ。

発行元：立憲民主党宮城県第1区総支部（兼 宮城県連合・東北ブロック連絡所）

〒980-0802 仙台市青葉区二日町2-1-4F (TEL) 022-393-7761 (FAX) 022-393-7236

誰も置き去りにしない社会へ！



平成最後の年明けを厳粛に迎えました。

日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。

初当選をさせていただき1年あまりが過ぎました。

この間、国会では、データ改ざんやはぐらかし答弁の『働き方改悪』や農業をはじめとする『過度な規制緩和』が強行採決されました。大阪北部地震や西日本豪雨、北海道胆振東部地震などの災害対策よりもカジノ優先、外国人労働など、官邸主導による『今だけ、金だけ、自分だけ』の政治から一日も早くまっとうな政治を取り戻さなければなりません。

今年は参院選・統一地方選があります。憲法改定、消費税増税など、国民の生活と子どもたちの未来に大きく影響を及ぼす重要な位置づけとなります。

介護や保育士など福祉職への所得拡大、子どもの育ちを全力支援、専守防衛の徹底など、いのち・子ども・平和を守るため、また立憲主義に基づく民主主義を貫くためにも、全力を尽くして参ります。

本年が皆様にとって健やかで幸せで、そして何より平和な年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

衆議院議員 岡本あき子

立憲民主

The Constitutional Democratic Press

RIKKEN
MINSHU
号外
2018.12.18

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
<http://cdp-japan.jp/>

歴史的 policy 転換となる 事実上の 移民政策を強行。 国会の空洞化を加速。

12月10日、自民党総裁選で3選した安倍総理が臨んだ臨時国会が閉幕。今国会の最大の焦点は、外国人労働者の受け入れを拡大する事実上の移民政策である入管法の改正だが、外国人労働者の受け入れ数の上限をはじめ制度の詳細は全く詰まっておらず、法律成立後に定められる「政省令」に委ねられることになる。これでは、政府への白紙委任そのもの。歴史的 policy 転換とされる重要法案であるにもかかわらず、衆院で参考人質疑等を入れて17時間、参院でも20時間程度の短い時間で審議が打ち切られた。これは過去の重要法案と比べても異例の短さで、立法府としての熟議が全く果たせていないまま、行政府の下請けとなって賛成することは間違いだ。私たちは立法府の責任を果たす立場から、本法案に反対する。

国会は、 政府の追認 下請け 機関ではない！

立法府としての 責任放棄は 認めない！